



電気学会 IEEJ プロフェッショナル アクションレポート
2019年1月・第44号

IEEJ プロフェッショナルニュース

ニュース1. IEEJプロフェッショナル会 第99回定例会 見学会

1. 日 時 平成30年10月18日（金）14時～16時30分
2. 場 所 渋沢史料館
3. 出席者 三上亘、伊藤二郎、大島正明、佐藤信利、臼井正司、植田正紀、大来雄二、河合三千夫、木村軍司、谷口元、羽片日出夫、萩原勝夫、深尾 正、三好紀臣、持永芳文（15名）

4. 見学内容

渋沢栄一の生涯の映写の後、学芸員の説明により、設備見学が行われた。

- (1) 概要説明 映像で生涯（1840～1931）の概要が説明された。倒幕の志、一橋家へ仕官、フランスで受けた近代化の洗礼、幕府瓦解・慶喜のもとへ、新政府で元勳とともに、実業界へ（1873年大蔵省辞職・約500社の会社設立）、徳川慶喜公伝の編纂、貧困者を救済（養育院院長58年間）、労使協調会の設立、1902年欧米周遊後商業に大切な道徳を説く（道徳経済合一説）、民間外交（1909年渡米実業団団長・1890年代後半日本人移民団排斥運動など日米関係悪化）など
- (2) 青淵文庫（1925年竣工、贈呈された個人図書館）、晩香廬（1917年竣工、賓客の接待の場など）、常設展示室（栄一の事績や思想、生きた時代に関する資料・郷里にて・幕臣となる・維新政府の一員・実業家を築く・民間外交を担う・社会公共事業を推進・栄一と家族たち・手紙に見る広い交流・91年の生涯を終えてなど）を見学した。

以上



ニュース2. IEEJプロフェッショナル会 第100回定例会 議事メモ

1. 日 時 平成30年11月20日(火) 15時～17時
2. 場 所 電気学会会議室
3. 出席者 三上亘、深川裕正、伊藤二郎、大島正明、佐藤信利、壺岐浩幸、河合三千夫、木下繁則、木村軍司、熊田 稔、古関庄一郎、佐々木三郎、谷口 元、中道好信、萩原勝夫、深尾 正、松岡孝一、三好紀臣、持永芳文、八坂保弘 (IEEJプロフェッショナル 20名)、武田隆司 (日本技術士会)

4. 講演 木村彰宏氏 (損害保険ジャパン日本興亜 (株))

「スマート社会に向けた日本の再生可能エネルギーの現状と課題」

4. 1 講演概要

自己紹介、会社の概要、再生可能エネルギー導入の現状(伸び率、FIT、国民負担大きい)、省エネ(LED効果)、システムの安定性が心配、海外のエネルギー(ドイツの石炭・フランスの原子力廃止できるか)、化石エネルギー業者との闘い(欧米では投資引き上げ、気候関連財務情報開示)、ネガワット取引(節電電力を売買する仕組み)、太陽光発電偏重からの脱却、洋上大型風力有力、太陽光発電事業者の安定供給意識低い(野ざらし、雑草、民家隣接、フェンスなし、法面崩壊、自然災害心配、台風設計なし、比較的事故多い)、改善必要(規制、教育と意識改革、保険など)、Society 5.0(超スマート社会、デジタル化とビッグデータの活用)(スマホ・パソコン・IoT・ドローン・ロボットなど活用、省エネ、シェアリング(例・昼間学校で夜事業者、洗濯機)、スマートシティ形成、新交通、電気自動車、自動運転進化、ヘルスケア、新しいスーパーマーケット、Eスポーツ、脊髄損傷などの回復)、SDGs(持続可能な開発目標)、柏葉スマートシティ、スマートなエネルギーシステム(安定、環境、マネージメント)、保険のあり方など講演であった。

4. 2 質疑応答

サイバーリスクと保険、太陽光発電(地方創生交付金・安全対策・設備基準・景観・保険・FITの将来・メガソーラと家庭用以外不要)、電力会社の政策、2030年の再生可能エネルギーはどのように達成するかなどの質疑応答であった。

5. 議事

- (1) IEEJプロフェッショナル会提案のシンポジウムは2019年3月13日(水)9時～12時に北海道科学大学で開催される。多くの参加者の要請があった。
- (2) 電気理科クラブ木村軍司氏から、電気理科クラブの活動が紹介された。東京タワーキッズ環境科学博士2018出展は10月6日(土)～8日(月)に実施された。新宿区立環境学習情報センター主催の四谷第六小学校「科学クラブ」における「くらしに役立つエネルギーの不思議」が10月26日(金)に実施された。

以上